

2010-11年度 国際ロータリーテーマ



地域を育み、大地をつなぐ

会 長 岡島達雄
副会長 中武泰一郎
幹 事 武末喜久治
例会日 毎週木曜日 12:30～
例会場 ホテル泉屋 2F
事務所 宮崎県児湯郡高鍋町大字北高鍋1368-4
ホテル泉屋内 TEL/FAX 0983-21-1636

第1693回 平成23年5月26日プログラム

- | | |
|----------------------|------------|
| 1. 点 鐘 | 7. BOX 披露 |
| 2. ロータリーソング
我らの生業 | 8. 各委員会報告 |
| 3. ビジター・ゲスト紹介 | 9. 内部卓話 |
| 4. 会長の時間 | 10. 次週例会案内 |
| 5. 幹事報告 | 11. 点 鐘 |
| 6. 出席報告 | |

2730地区ガバナー 伊藤 学而
中部分区ガバナー補佐 岩切 昇

2730地区テーマ

クラブを活性化し、地域と時代の要請に応えよう

高鍋ロータリークラブテーマ

品位のある楽しいクラブを実現し、社会の要求にこたえよう

5月の月間テーマ

次年度準備月間

本日の例会案内 ・100万ドル
・ゲスト—米山奨学生— 汪 南雁様
・内部卓話—岩村君、中武君

次週の例会案内；6月2日（木）1694回例会
・月初めのセレモニー ・米山ランチ
・外部卓話—（防災講座）佐々木史郎様

第1692回 例会内容

■会長の時間

会長 岡島達雄君

ガバナーエレクト候補とやわ肌

ガバナーエレクト候補選出議題で先週例会終了後、中部分区会長幹事会が臨時に召集され、武末幹事と参加した。構成員外にも、ガバナー補佐とガバナーエレクト候補も参加した会で、当該クラブの理事会も賛同しているという。ほぼ決まりと思われた。ところが昨日突然キャンセルされてしまった。



会員40名を擁し5年後に40周年を迎えるわがクラブも、ガバナー選出には関心もあり責任感もないわけではない。委員会を立ち上げ候補者を選出する矢先のハッピーニングに、ガバナー選出委員会開催の予定が狂い、委員や会員みなさんにご迷惑をおかけしたことをお詫びする。

さて、私の会長の任期も余すところ1年半となった。会長の時間では、ロータリーの話し以外に職業奉仕の一環としての堅い話が多かったように思う。しかし私の研究者としての仕事の半分は景観論や意匠（デザイン）論である。

今日は「やわ肌型材料」についてお話しする。「やわ肌」ってどんな感じ。赤ん坊、若い女性の肌、を想像してみてください。やわらかく、あったかく、すべすべしてい

る。でもそうでもないのですよ。2000年を過ぎて実母と岳父が逝った。いずれもめでたく100歳。母は死の直前から体温があるまで、父の場合は死の数日前、顔を何回も何回も長い間擦っていとおしんだ。年齢・性別にかかわらず、弾力性は落ちていたが「やわ肌」だった。やわ肌型材料の最たるものは、毛皮とくにミンク。ただ虫眼鏡で見ると細くて長い毛の集まり。隙間がある。

この一本一本が触るとしなやかに柔らかい感触を与える。シルクや綿などの布、畳も同じ。保温性、吸・透湿性もあるので肌着、洋服、寝具、インテリア材料の多くはやわ肌型材料である。

わがクラブが創立したころ、シアーズローバック社の新社屋がシカゴに竣工した。当時世界一の高さであった。最上階の展望室のインテリアはダークブルーのやわ肌型材料であった。

そのときのRI会長ウィリアムCカーターのテーマは、A time for action. 「今こそ行動のとき」であった。今後のガバナーエレクトの選出にご配慮をお願いします。

■幹事報告

幹事 武末喜久治君

<文書案内>

*2011-2012年度第一回ロータリー財団セミナー案内
日時 2011年6月30日（木）
9:00-16:00
場所 東京 グランドプリンスホテル高輪
登録料 10,000円（≒切6/10）



◆出席報告 出席委員長 函師義孝君

会 員 数	40 名
出席 会員 数	29 名
ホーム出席率	74.36%
前々回の修正出席率	87.50%

◆BOX披露 親睦活動委員長 橋口清和君

<ニコニコ・財団・米山BOX>

*橋口清和君 誕生日のお返しとして。

欠席が多くて申し訳ございません。

2011-2012 年度の為の地区協議会報告

◇会長部門 次期会長 中武泰一郎君

去る、5月8日(日)に都城市で地区協議会に参加いたしました。11名の会員の参加をいただきました。

前半は、都城総合文化ホールで全体会が行われ、午後からは南九大に会場を移して、委員会毎の会議が実施されました。

次年度の活動について述べさせていただきます。

2011～2012年度 高鍋クラブテーマ

原点をみつめ

「団結」 「創造」 「挑戦」

unite creation challenge

～次代への確かな一歩を～

- ・長期計画に基づくクラブ運営の試行
- ・奉仕活動等の見直し
- ・例会の充実と出席率の向上
- ・女性会員を含む新会員の発掘と会員数の維持
- ・新入会員へのサポートの充実と研修の早期実施
- ・クラブ研修の充実(夜間大学・炉辺会合等を含む)
- ・クラブホームページと広報活動の充実
- ・地域・地区における存在感を高める
- ・財団・米山・ニコニコへの積極的な奉仕の奨励
- ・地区行事への参加(特に入会3年未満会員)
- ・内外卓話の充実

次年度は、クラブ運営の試行期間と位置づけられておりますので、皆様から様々ご意見をいただき、大いに議論を積み重ねながら、50周年へ向けての土台作りが出来ればと思っております。

皆様のご指導・ご鞭撻を宜しくお願い申し上げます。

◇幹事・会計部門 次期幹事 藤本範行君

初めての参加でした。都城の会場に着くと、すでに多くの参加者で一杯でしたが、その中には、日南時代のバレー友達や、都城工業時代の教え子と久しぶりに再会し、「先生もロータリーにはいっていたんですね！」と会話がはずみました。

開会前20分に指定の席に着くとすぐに、子供たちから大学生によるアトラクションが演奏されました。プログラムに記載されていなかったため、残念でした。

いつまでもロビーにいた方は、半分も見れなかったし、演奏者にも失礼でした。

開会の挨拶の中では、次年度ガバナーを引き受けられた長峯基氏の言葉が印象的でした。やる気満々で、頼もしく感じる事ができ、ガバナー訪問が楽しみです。

「若い会員をどうやって増やしていくことが出来るか?そのためには35歳までの会員の会費を無料にする、とかローターアクトの会員を増やししっかり育ててロータリーに繋ぐこと・・・」など具体的にあげられました。

午後からの分科会では、幹事と会計の会に出席しました。入会4年目に引き受けることになった幹事役がまともにこなせるのか心配ではありますが、説明を聞いていてやる気と自覚が出てきたところです。

事務局の財津さんに一番迷惑をかけそうですが、よろしくお願いします。

できるだけ頑張って、中武新会長を支えていきます。

◇フェロシップ(親睦)部門

次期親睦活動担当 尾崎敏弘君

クラブ管理運営委員会の親睦活動リーダー石田喜克君の代理として出席いたしましたので部門別会議を報告します。

フェロシップ委員会はクラブ奉仕と一緒に助かりました。クラブ奉仕委員長は次年度の会長であり、次年度の副会長である函師義孝君だったからです。これからやろうと考えている人と代理で頭数で出席している人では、その姿勢が異なるのは当然でしょう。

委員会は、カウンセラー岩下哲夫(宮崎北)、リーダー鳥山 浩(宮崎中央)、内倉厚弘(鹿児島城西)、サブリーダー岩切正司(佐土原)のメンバーのもとで行われた。フェロシップは内倉小委員長が説明された。

この委員会は2009-2010年度、クラブ奉仕委員会に新しく設置され、親睦委員会をフェロシップ委員会に名前を変更した。その理由は、ここでいう親睦とは酒飲会やゴルフ大会等をする事ではない、(Fellowship)を親睦と訳したことに問題であり、むしろ「友情」「友愛」と訳した方が理解しやすい。親睦を深める最適の場所は例会であるという。そして各クラブの「親睦委員会」の名称を「フェロシップ委員会」に変えることを推奨するともいわれた。

思うに、何故親睦委員会ではダメでフェロシップの方がいいのか、翻訳がまずかったといわれるが、今までロータリーの始まりは親睦、友愛であり、ここから職業奉仕が生まれ、その延長線上に社会奉仕、国際奉仕へとつながっていくものだと理解している。なぜいま、修正してカタカナにしてほしいのだろう、むしろロータリーでいう親睦とはどういうものかを議論することの方が大事ではないでしょうか。

◇広報・雑誌・IT部門

次期広報・雑誌・ITリーダー 日高 茂君

武末クラブ広報委員長の代理で出席してきました。

当日は自宅を出るときは雷鳴を伴う雨でしたが、途中から小雨となり会場の都城市総合分庁ホールに到着した頃にはほぼ雨は止んでいました。

何と言っても鮮明に残っているのは「都城少年少女合唱団による」素晴らしい歌と踊りのプロローグから始まったことで、今日は楽しい一日になると感じられました。

ところがです、午前中の本会議は地区のガバナーエレクト、現ガバナー、次期のお歴々の委員長さんたちから有益な話が沢山あったようですが、私には一方的な話ばかりで長い時間でした。

午後の部門別会議では、雑誌・広報・IT小委員会に出席しました。この委員会の要点は、

- ①ホームページを所有しているクラブが、現在64クラブの内31クラブ、これを次年度45クラブを目指す。
- ②ロータリーを一般に知らしめ会員増強の一助とする。
- ③クラブの情報共有をおこない出席や親睦に役立てる。
- ④クラブの活性化や退会防止に役立てる。

などの話が主でしたが、具体的にどのようなHPにしたら良いのかについては、何も示されなかった。

感じとして、2730地区担当は、全クラブにHPを所有させることで、各クラブ独自のイベントなどを収集することが趣旨の様であった。

新しい施策として、次年度は、各クラブの広報・雑誌・IT委員長メールで意見交換が出来るようにしたいとの事がありました。

◇情報・研修部門

次期情報・研修リーダー 田中晴敏君

初めに、協議会に出席して会場の二分化されて非常に不便であった。南九州大学でロータリー情報研修小委員会の部門別会議が行われた次年度方針である。

- ①委員会名称が2010～2011より「ロータリー情報研修小委員会」に変更
- ②情報研修委員会の任務
(新会員への対応) (情報収集、管理、伝達) (会員研修)
他、「地区長期計画(10プラン)と具体的目標」「新入会員にどう対応するか」であった。

◇国際奉仕部門

次期国際奉仕リーダー 岡島達雄君

国際奉仕委員会の目的は、クラブ活動を通しての国際理解、親善、平和を推進すること。

西都クラブの成功例が紹介された。国内1クラブ韓国1クラブの3クラブが協働してカンボジアのココチュロン村に井戸20本を提供し、現地の生活環境を改善した。費用の半分は、3クラブで分担し残り半分は地区補助金をあてた。全ての井戸からきれいな水が出ることを確認に行くまでの経過も含めて、国際理解、親善に貢献し、全ての関係者が豊かな気持ちになれたという。さらに、参加クラブの国際委員会活動の情報の交換を行った。

今後のクラブの国際委員会活動の開発に勇気を与えてくれた委員会であった。

◇ローターアクト部門

次期新世代・ローターアクト担当 茂木 晃君

午前の本会議は、短期間によくもこれだけの会合を開くことが出来たと思ひ、ホスト都城RC、コホスト都城北、都城西、都城中央RCに敬意を表します。都城的のアクター達は会の運営のサポートをしていました。

特に埼玉からRI研修リーダーが多分初めて参加されて有意義な挨拶をされたことです。また、秦地区研修リーダーが、インターアクトを中学から始める動きがあると話され印象に残りました。

午後の部門別会議には、ローターアクト部門に参加しました。リーダーは、加治木RC岩澤浩二現・次期地区RA委員長で行われました。現在地区64クラブ中アクト活動中クラブは22、休止中3、再生中1となっています。参加者は、各クラブRA委員長又は代理で17名、これに地区内のRAメンバーが現地区代表、次期地区代表、次期幹事を始め各クラブ会員23名でした。

先ず、全員の自己紹介の後、リーダーからアクトに常に増強が必要。5人アプローチして1～2名入会すればいいくらい。会員の仕事の時間が遅いことがネックになっている。各人各人のつながりが大切と言われました。当日のアクトの参加は、リーダーの希望によるものだそうで、今迄はあまりなかったこと？

次にリーダーが年間行事を示し、RAとRCの一年間の流れの説明がありました。ついでRIのアクト必携を配布して、その中の特に重要な点である「何故RAを結成するか」「クラブ役員のための研修」などで会員間の横に連携が必要と強調しました。「定款」「RA方針声明」は熟読してこれを守る事の大切さを話されました。アクト達の参加が会を若返らせ、盛り上りを見せたと思ひます。30歳卒業問題が話題に挙がり、現役アクター達が感想を述べ「やっぱりもう少しやりたい」というのが本音だったようです。これに対しリーダーは、今迄日本のクラブからRIの規定審議会に何回も35歳卒業案を提案されたがその都度否決されてきたことを話し、各クラブからも更に提案を続けるよう希望がありました。

◇職業奉仕部門

次期職業奉仕委員長 井上博功君

都城西の長友委員長あいさつの後、各クラブの出席者の自己紹介から始まった。鮫島哲也パストガバナーの話が20分程あり、質疑応答、そして、カウンセラー講評で終了しました。

鮫島哲也パストガバナーの話

ロータリーでは、職業のことを「ジョブ」ではなく「ボケーション」をつかっている。ボケーションは「神によって与えられた仕事」という意味だそうです。

ロータリーの職業奉仕は、神に恥じない、良心に恥じない仕事をしなさいということです。そうすることが、結果的に自分を守る最良の方法である。即ち、職業奉仕の理念そのものである。そのために「四つのテスト」、「ロータリアンの職業宣言」がある。

四つのテストは標語ではない。物差しだ。経営者や責

任者は毎日実践の役に立てる為にある。

質疑応答

職業奉仕に関して各クラブどんな活動をしているか。
年に一回「職業奉仕賞」を贈呈している。

日の当たらないところで、長い間仕事をして、それが社会に、人に役に立っている人に職業奉仕賞を贈ろう。

そういう人をあらゆる手段を使って、発掘するのが、ロータリーの仕事ではないだろうか。

他の団体からあるいは、新聞などで一度、表彰されている人は適用外。

◇ロータリー財団部会

次期ロータリー財団委員長 岩切 洋君

先日、都城での地区協議会に出席してきました。

10時からの本会議は都城総合文化ホールで相変わらず長〜い会議で、おまけに椅子の座り心地がイマイチ悪かったのが印象的でした。

次年度財団委員長という大変重た〜い役を頂き、午後からの部門別会議では、次年度地区の目標は例年言われていますように、年次寄附一人100ドルを、と恒久基金ベネファクター各クラブ2名達成、地区補助金申請10クラブ以上の応募をという事でした。特に地区補助金申請においては他クラブのプロジェクトをネットで検索参考にして難しく考えずにどんどん申請してほしいとの事でした。ちなみに今年の申請締め切りは6月30日という事で難しいかと思しますので、来年にむけて検討していく点かなと思いました。

帰りのバスでは藤本先生オススメの山之口 PA 名物メロンパンを買い、嫁さんと子供のいいお土産になりました。ありがとうございました。

◇米山奨学部会 次期米山担当 関 正夫君

本会議でのガバナーアドレスより

先に見える奉仕をしたい。奉仕の理想は見え難いが理想の奉仕は見えやすい。思いを形にした奉仕は先がみえるように思う。(このような事を云われたような気がします。)

分科会は米山記念奨学会に出席しました。リーダー、カウンセラー、委員長の三人がそれぞれ三十分ずつ目的などを講演され、米山奨学会に理解を求められました。ことに米山に対する特別寄付に協力を求められました。十月の米山理解月間で詳しく理解を求めます。

◆新ホームページについて

広報・雑誌・IT委員長 日高 茂君

現状のブログ記事のみのHPと新しく検討しているトップページの有る1案、トップページをブログとする2案について、比較しながら説明しました。

1. 現HP

1回/週の間隔でイベントなどの記事を掲載していますが、この記事を探すのに苦労しています。・・・これが決まれば記事と写真を掲載することに少し時間を要するだけです。

2. 新HP

1案は、トップページにボタンを付け、ブログ記事のほかにクラブ概要、会員名簿などを搭載します。ブログの更改記事はタイトル表示で閲覧する時はそれをクリックとなりますが、記事は役員や委員長リーダーの皆さんの記事のほか、イベントを掲載すれば情報量は多いものになりますので私はこの案を薦めます。

2案は、1案と同様にクラブ概要等ボタンをつけますが、トップページとなるページは現状と同様にブログの最新記事となりますので、常に記事更新が必要となります。

3. お願い事項

次年度の会長挨拶、現会長、各委員長、リーダーは方針や抱負などの記事をお願いしたい、頂く次期は別途ご連絡いたします。その間に様々なイベントを搭載することでかなりの情報発信になると考えております。



日高 茂君

6月の例会プログラム

- 6月2日 (1694回) 米山ランチ
月初めのセレモニー
外部卓話—防災講座 佐々木史郎様
- 6月9日 (1695回) 血圧測定
クラブ協議会 (年間報告)
*夜間=現・次期理事会&現・次期委員長会
- 6月16日 (1696回) 100万ドル
クラブ協議会 (年間報告)
例会終了後次年度プログラム委員会
- 6月23日 (1697回)
内部卓話—橋口君、木村君
- 6月30日 (1698回)
三役退任あいさつ 親睦月間卓話



例会前 茂木君による血圧測定